

天塩町水田フル活用ビジョン

第 1 取組方法

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、酪農専業地域で大半は草地であり草地改良を目的とする作付、離農者の不作付地を利用して作物の作付をしている。泥炭の土地が多く草地の状態が悪いこの地域は、草地の更新も進んでおらず地力も低下していることから草地更新の為に、輪作を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいるが、畑作農業の参入による新たな取組も行われている。

2 作物ごとの取組方針

適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産を図ることとする。

(1) 麦

地域の気候条件等に合った品種の導入を進めるとともに、適切な病害防除対策を実施することより、収量及び品質の安定向上を図る。

(2) 大豆

産地交付金を活用しつつ、収量及び品質の安定向上を図り、離農者の不作付地を新規参入者により生産し規模拡大を目指す

(3) 飼料作物

計画的な草地更新の推進と地域に合った品種の導入の推進を図るとともに、土壌診断から施肥設計、質の良いたい肥生産による土づくりで良質な粗飼料生産を推進し、自給飼料基盤に立つ酪農及び肉用牛経営を展開する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 27 年度の作付予定面積 (ha)	平成 28 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米			
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦	26	26	55
大豆	0	10	50
飼料作物	9,833	9,833	9,833
デントコーン	396	398	396
牧草	9,437	9,435	9,437
そば			
なたね			
その他地域 振興作物	170	0	0
てん菜	170	0	0

4 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり